

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和6年度（2024年度）第16回（定例会）

署名人 仲本千佳子

教育長 宮里寿子

開催日時 令和6年（2024年）12月16日（月）

開会 午後2時00分

閉会 午後2時47分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席者

〔教育長・教育委員〕

宮里寿子教育長、安里恒男委員、仲本千佳子委員、二木志保委員、山城達彦委員

〔事務局職員〕

【生涯学習部】稲福喜久二部長

（総務課）平良美夏課長、幸地英子副参事、比嘉亮晴主幹

【学校教育部】比嘉真一郎部長、平良進副部長

（学校教育課）濱川太課長、平良真哉副参事、運天弘和管理主事、亀川智管理主事、仲村海主任主事

議事日程 ※日程1～2は非公開

1 議案第35号 県費負担教職員途中人事の内申について【学校教育課】

2 報 告1 県費負担教職員の内申に関する教育長の専決について

※教職員の任免について内申 【学校教育課】

3 報 告2 令和7年度教育委員会組織改正及び定員再配置について【総務課】

議事録作成（総務課）

宮里教育長 ハイタイ お疲れ様です。それでは、これより令和6年度第16回教育委員会会議（定例会）を開催いたします。本日は、議案1件、報告2件となっております。議事録署名は仲本委員、よろしくお願いいたします。ここで非公開について諮りたいと思います。議案第35号及び報告1については、人事に関する案件であるため、非公開とすることが適当であると思われます。議案第35号及び報告1を非公開としてもよろしいでしょうか。

委員全員 異議なし。

宮里教育長 はい、ありがとうございます。では、異議なしということで、非公開といたします。関係者以外の退席をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

～ 非公開 ～

～ 非公開 ～

宮里教育長 それでは、報告2「令和7年度教育委員会組織改正及び定員再配置について」の説明をお願いします。稲福生涯学習部長、よろしくお願いいたします。

稲福部長 はい、報告2についてですが、こちらは、令和7年度における教育委員会組織及び定員再配置について、別紙のとおり決定いたしましたので、報告させていただきます。総務課から内容については、報告させていただきます。

宮里教育長 平良総務課長、よろしくお願いいたします。

平良課長 よろしくお願いいたします。報告2「令和7年度教育委員会組織改正及び定員再配置について」ということで、ご説明いたします。

令和7年度の組織改正及び定員再配置につきましては、令和7年度教育委員会組織定員管理運営方針に基づき、組織の喫緊の課題に対する対応をするため、組織体制を再編しております。

特に学校の働き方改革、学校事務の改善、GIGAスクール構想等の推進・体制強化のため、学務課、学校支援室をより強化した形で、組織再編を行っております。また、事務事業の業務量を考慮し、定員の再配置を行っております。

それでは資料の2ページをご覧ください。組織改正及び定員再配置の概要について、ご説明いたします。「1 組織改正について」です。（1）学校の働き方改革及び学校情報教育推進等のため、学務課及び教育研究所を再編いたします。

教育研究所情報支援グループを学務課学校支援室へ再編し、学校の働き方改革及び情報教育を推進いたします。現在、学務課学校支援室の担当している業務のうち、備品購入・管理、学校衛生等の業務については、学務課に新たに振興グループを設置し、業務移管いたします。

「2 定員再配置について」、（1）定員数は307人から308人へ、1人増員となります。那覇市職員定数条例で教育委員会の職員数の限度は404人と定められております。このうち、実際に配置を予定する職員数を定員と言い、令和7年度は3

08人を予定しております。2の主な増減員については、3ページ以降で担当より説明させていただきます。

宮里教育長 お願いします。

比嘉主幹 お願いいたします。早速ですが、3ページをご覧ください。表の見方ですが、左側が「現行組織」、その右隣の「改正組織」は令和7年度の組織内容となっております。その右隣の「増減」ですが、課の定員増減、その下にカッコで書かれている数字は、課内グループの増減となります。また、変更のある数字につきましては、下線を引いております。

それでは、現行組織から変更のある課を中心にご説明いたします。まず、同じく3ページ、総務課です。定員配置の見直しによりまして、人事・庶務グループの復職支援等定員枠主事5を減員いたします。

続きまして4ページ、生涯学習課です。地域学校協働活動推進員、青少年旗頭事業の見直しに関する業務等に対応するため、青少年育成室に主事1を増員いたします。

次に5ページの施設課です。令和7年度は長寿命化改良事業、電気設備関連改修事業等、小・中学校バリアフリー化改修工事、首里公民館・図書館改修工事等への対応のため、6人の技師を時限配置いたします。

続きまして6ページの公民館・図書館でございますが、こちらは現行組織から変更はございません。

次に7ページ、学校教育課でございます。特別支援教育に関する多様なニーズに対応するため、学校教育課の事務分掌の見直し等を行いまして、特別支援グループの副参事を事務職としています。

続きまして8ページ、教育相談課につきましては現行組織から変更はございません。

続きまして9ページ、学務課でございます。学校における働き方改革、学校事務等の改善、GIGAスクール構想等の情報教育強化等のため、教育研究所情報支援グループを学校支援室に再編することに伴いまして、新しく設置する振興グループには、主幹1、主査1、主事3を配置しております。就学奨励グループの主査1は、基幹系システム、就学援助システムの再構築事務対応のため、令和7年度まで時限配置しております。

学校支援室でございますが、室長1・主幹2・指導主事1・主査4・主事4を配置いたします。指導主事1は、令和8年度までの配置としております。また、校務系ネットワーク再構築などのため、主査1・主事1は令和7年度までの時限配置でございます。

続きまして10ページの学校給食課です。定年引上げによりまして、定年退職した調理員をフルタイムの再任用職員として配置することを想定してございまして、暫定配置として定員を確保する必要がありますので、改正理由7)のとおり、学校給食調

理業務を維持するため、調理員 3 を暫定配置することとしております。

続きまして 11 ページ、教育研究所でございます。説明が重複しておりますが、学校における働き方改革、学校事務等の再編、GIGA スクール構想等の情報教育強化等のため、情報支援グループを学校支援室に組織再編しております。小学校及び中学校につきましては、現行組織から変更はございません。

次に、定年前及び暫定再任用（短時間）職員の配置先についてでございます。資料 12 ページ、「令和 7 年度定年前及び暫定再任用職（短時間職）設置先一覧」をご覧ください。基本的には令和 6 年度現在、再任用職員が配置されている部署へ、そのまま継続配置としておりますが、再任用希望者数の減、少なくなっていることから、業務の優先度合いを勘案して、新規配置や廃止をしております。駆け足でございましたが、説明は以上でございます。

宮里教育長 はい、ありがとうございました。少しじっくり見ていただいて、そこから質問を。大きく変わったのは教育研究所ですね。はい、よろしいですか。はい、質問がございましたら、仲本委員、どうぞ。

仲本委員 教育研究所から学務課に情報支援グループを移すと、どのようなメリットが生まれ、効果があるんですか。

宮里教育長 はい、よろしくお願いします。

比嘉主幹 現在、学校支援室では、基本的には、働き方改革ということを担っておりまして、システム的な面を統一化しております。そこで情報関連のシステム支援等、あるいは備品等を活用しながら、総合的に働き方改革を推進できるのではないかと考えております。

仲本委員 GIGA スクールの、今まで支援していた業務も、教育研究所から学校支援室に移るということですね。

比嘉主幹 はい。そうです。

稲福部長 ネットワーク環境に関することは学校支援室で、教育的なところは教育研究所で。DX 推進室との連携とか、指導主事のラインで進めるには手続き上難しいところもあるため、よりスピーディに幅広く、情報収集しやすい環境を作るということです。市長部局の DX 推進室にサポートしていただいて推進加速化させています。今後は、保護者情報ネットワーク等、色々入ってきますので、そういうことも視野に入れて、サポートしていこうということです。

宮里教育長 ほかにもございますか。はい、安里委員、どうぞ。

安里委員 毎年この時期に、そういった提案が出されていると思っていますけれども、管理運営方針、令和 7 年度から令和 11 年度のものですけれども、これは毎年、何らかの形でそういった編成しないといけないのか、というのが 1 つね。昨年度も、教職員のメンタルヘルス等において、学務課に振興グループから学校支援室へと、大幅に増員が

あったということですがけれども、結局まだ1年経たないけれども、どんどん動かして行かないといけないのか、その時の状況を見ながらだとは思いますがけれども、そこら辺をまず1つ答えてもらって、次に質問します。

宮里教育長 どうぞ。

平良課長 お答えします。毎年の編成をしなければいけないか、というところですが、特に組織的に対応がなされているということであれば、大きな再編成ということはない場合も、もちろんあります。今回は、必要性を考えて再編成をしているということでございます。去年、振興グループから支援室へ移し、また振興グループを再度設置し、支援室を大きくしているというところ、今年が一番、ここがポイントになってくると思っていますけれども、やはりこれは今、教育委員会の中での課題を解決するためには、組織上ここを再編成して力を入れないといけない、という考えから、2年連続で大きな再編するというのは、あまりないことではあるんですけれども、今回は力を入れてやりたいと考えた結果ということになります。

安里委員 今のことに関連して、教育研究所のメンバーが、学務課に皆、異動して来るということですか。

宮里教育長 情報支援グループのメンバーです。

安里委員 研究所に残ったままでの連携ではなくて、そっくりそのまま異動してくる。

宮里教育長 残っているのもあります。保守メンバーが異動してくることになる。

稲福部長 基本的には、情報支援グループ全てをこちらに持ってきますが、スペース的な問題があります。学校を訪問して保守を行うメンバーは人数もいますし、備品等も色々ありますので、分室のように使いながらやっていくことも考えています。場所が手狭ですので、部屋の確保については、権限を持っている企画調整課と調整しているところ です。

安里委員 よりスピーディに対応出来るように期待しています。ちょっと違う質問ですけど、総務課ですがけれども、現行組織が、人事・庶務グループが12人と書いていますけれども、席を数えても12人はない。あまり変わってない、改正後7人と書いていますが、今、7人じゃないかって思います。これは復職支援等定員枠、主事5名と書いているから、その辺のところ、お話を聞かせてもらって良いですか。

比嘉主幹 今、委員がおっしゃられるとおり、現在いるメンバーはこの7人程度となっておりまして、復職支援等定員枠というものは、休職していたりとか、そういう方々のポスト、席と考えております。定員上、前年度307人のうち5人は復職支援等定員枠で確保していましたがけれども、令和7年度は、この5人を定員にカウントしないということで変更しています。ですので、実際の人数に見合った人数の改正となっております。

安里委員 ということは、今まではカウントしていたということですか。

比嘉主幹 カウントしておりました。

安里委員 はい、ありがとうございます。

宮里教育長 少し、私からも補足をさせてください。私、実は以前、研究所にいました。あの時の研究所の業務内容と今は全然違います。GIGAスクール構想が入ってきて。特に予算面ですね。予算面で、学校の指導主事が対応できる額じゃないですよ。本当に毎回億単位の予算。今までの研究所では、電子黒板くらいだったんですけども、ネットワーク関連等は予算額がとて大きいということもあり、行政やDX推進室との連携強化、効率がいいのかということで、今回の学校支援室の再編成という形になった、ということです。

安里委員 指導主事自体は減っていますか。

宮里教育長 指導主事は減っていないです。

比嘉主幹 全体的な指導主事の人数に変更はありません。

安里委員 去年は、研究所から1人減った。

平良課長 全体的には減っていませんが、教育研究所から1人減になりました。

宮里教育長 学校教育課教職員グループに配置されましたね。これが、とても功を奏しています。

安里委員 学校教育課の教職員グループに今回、保健師さんが入りましたけど、あと1人増えるということはないですね。

宮里教育長 休憩します。

～ 休憩 ～

～ 再開 ～

宮里教育長 再開します。仲本委員、どうぞ。

仲本委員 私も、1つだけ良いですか。この施設課ですけれど、いつも思うんですけれど、この技術職、今は凄く確保が大変じゃないですか。これを、この何年間の時限的配置する場合、どこから引っ張って来ていらっしゃるんですか。1増したり1減したり中々、難しいじゃないですか。こんなに人材がたくさんいないですよ。

比嘉主幹 那覇市全体の職員数に関連してくるんですけれど、やはり、こういった建築であつたりとかは、どうしても時限的な事業が多くてですね。市長事務部局、水道局等々と調整しながら、今年度のボリュームはこちらが多いので、時限的に配置してください、というふうな調整を行っています。

仲本委員 技術職は技術職で、部局を超えて、全体で調整しているんですね。分かりました。

稲福部長 この増やした人数分は、教育委員会の数の中の事務職を置き換えています。数的な数字はそうなります。人は市長部局など、全体から配置します。時限配置が戻ったら事務職を復活させることができます。施設課は去年までの10年間、業務がピークだったものですから、この期間は人的配慮をして落ち着いたら減らす。また、今は長寿命化という次のテーマが来ています。今は人数を維持していますが、これがどうな

るか分からない。長寿命化がある程度落ち着いてくると、また事務職へ置き換えていくことをしていこうと思っています。

仲本委員 災害対策というのかな、体育館にクーラー付けたら良いんじゃないのとか、予算はどこから、とは思いますがけれども。

稲福部長 実際、今年は機械職を増やしています。

仲本委員 災害リスクに強い形で、学校、避難所として。

宮里教育長 二木委員、どうぞ。

二木委員 文部科学省がGIGAスクール構想を打ち出して、教育研究所にGIGAスクール関係の情報支援グループも含めて人が多く配置されたと思うんですが、それ以前の教育研究所というのは、ネットワーク関連とか、あまり研究してなかったと思うんですね。今、GIGAスクール関係は、学校教育課に移ったのか。

平良課長 学務課です。

二木委員 学務課ですね。そうすると本来の、元々の教育研究ということが、もっと充実して、また復活してくれるのかなと思って、私は、大いに期待している所なんです。人は増えない訳ですよ。ここは全くね。その辺は今後、どういうふうな研究をしてくれるのかなとか、特に、学校教職員に対しての研修の充実について、力を注いでほしいと思うんですけれども、どういうふうにやっていこうという構想をお持ちなのかなと思っております。

宮里教育長 私もここに来て感じているんですけど、今は整備と言うか、GIGAをするためのネットワーク整備も担っている部分、ここはある意味、教職員が担う部分ではないんですね。予算面とか試算。もう一つは、研修は私達教員の、指導主事がやる所で、以前まではここが大きかったんですよ。この部分が飲み込まれるくらいネットワークの部分が大きくなったので、さっき言ったように、ここを学校支援室で請け負うと、教育研究所は教職員への研修に、凄くフォーカスを当てやすい。今は、ここに所長も引っ張られて、特に、予算面ですね。

二木委員 学校の先生から教育研究所に入られる方というのは、やっぱり、研究意欲が強く、また、後輩である方への教育についても、熱意のある方が行かれると思うんですが、GIGAスクールのほうに熱量があって、本来、やりたかったこととかやるべきことというのは、もしかしたら、十分できていなかったんじゃないだろうかと思ったりするので、今後ね。その人数が、だいたいまた動くので、ますます頑張ってもらいたいというふうに思っています。

宮里教育長 環境づくりと研究ってあるんですけど、この環境づくりが大変なことなんです。ほかにも、ありますか。大丈夫ですか。はい、では、報告2「令和7年度教育委員会組織改正及び定員再配置について」は、終了いたします。お疲れ様でした。

以上を持ちまして、令和6年度第16回教育委員会会議（定例会）を終了いたします

す。お疲れ様でした。

案件の審議結果

議案第35号	県費負担教職員途中人事の内申について	原案どおり可決
--------	--------------------	---------